

表-6.1.1(17) 南側仮設調整池の必要容量及び場内確保容量
10年確率規模 (m³)

年次	短期降雨 強度による	長期降雨 強度による
2年次	—	—
3年次	—	—
4年次	—	—
5年次	70,466	79,330
6年次	50,364	54,078
最大値	70,466	79,330

年次	南側仮設調整池				
	仮設調整池容量		工事中の必要容量		工事中 確保容量
	有効容量	満杯容量	必要容量	場内確保	
	①	②	③	④ = ③ - ①	⑤ = ② + ④
2年次	—	—	—	—	—
3年次	—	—	—	—	—
4年次	—	—	—	—	—
5年次	41,100	53,900	79,400	(38,300)	92,200
6年次	41,100	53,900	54,100	(13,000)	66,900

備考：有効容量：供用開始後の必要容量
 満杯容量：有効容量に余裕高分を見込んだ容量
 必要容量：工事中の必要容量
 場内確保：工事中、場内に確保する容量
 工事中確保容量：工事中の全確保容量（浸透ゾーン+場内確保）

図-6.1.1(25) その他の浸透調整池

表-6.1.1(26) 浸透調整池の必要容量及び場内確保容量
汚水 200mg/L の場合

施設位置	浸透調整池		浸透調整池		規模
	集水面積 (ha)	必要容量 (m ³)	浸透面積 (m ²)	必要容量 (m ³)	
① 出入口調整池	0.1	150	150	150	2×20×20
② 出入口調整池	0.1	150	150	150	2×20×13
③ 出入口調整池	0.1	150	150	150	2×20×3
④ 付帯道路 2	1.3	2,250	2,250	1,000	2×20×25
⑤ 付帯道路 2	1.3	2,250	2,250	1,000	2×20×25
⑥ 付帯道路 4	0.3	700	700	300	2×20×5
⑦ 取付道路	0.7	1,550	1,550	500	2×20×15

注：実施の際は、現場条件、工事工期等によって変動があり得る。